

ファダプス錠 10mg

【この薬は？】

販売名	ファダプス錠 10mg FIRDAPSE Tablets 10mg
一般名	アミファンプリジンリン酸塩 Amifampridine Phosphate
含有量	1錠中にアミファンプリジンリン酸塩 18.98mg (アミファンプリジンとして10mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、ランバート・イートン筋無力症候群治療剤と呼ばれる薬です。
- ・この薬は、電位依存性K⁺チャネルの遮断作用に基づき、神経伝達物質であるアセチルコリンの放出量を増加させ、神経筋伝達を向上させることで筋肉の機能を改善します。
- ・次の目的で処方されます。

ランバート・イートン筋無力症候群の筋力低下の改善

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・てんかんなどのけいれんを起こす疾患のある人
 - ・過去にアミファンプリジンまたは他のアミノピリジン系薬剤に対し過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・過去にけいれん発作のあった人
 - ・腎臓に障害がある人
 - ・肝臓に障害がある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

	開始用量	開始用量の後
一回量	半錠	半～3錠
飲む回数	1日3回	1日3～5回

増量される場合は、3日以上の間隔を空けて1日半錠ずつ増量されます。
開始用量の後の最高用量は、1日10錠までです。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

飲み忘れに気づいた場合には、次のあらかじめ定められた時に、1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

全身脱力、錯感覚（与えられた刺激と違う感じ方をしてしまう）、悪心、嘔吐（おうと）、動悸（どうき）、全身けいれん、および上室性頻脈（動悸、胸の不快感、脈が速くなる、めまい、気を失う）などの症状があらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・めまい、疲労、霧視（目がかすれる）、けいれん発作などがあらわれることがありますので、この薬を飲んでいるときは自動車の運転など危険を伴う操作をする場合には注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
痙攣発作 けいれんほっさ	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
過敏症反応 かびんしょうはんのう	寒気、ふらつき、汗をかく、発熱、意識の低下、口唇周囲のはれ、息苦しい、かゆみ、じんま疹、発疹

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	顔や手足の筋肉がぴくつく、寒気、ふらつき、汗をかく、発熱
頭部	一時的にボーっとする、意識の低下
口や喉	口唇周囲のはれ
胸部	息苦しい
手・足	手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
皮膚	かゆみ、じんま疹、発疹

【この薬の形は？】

形状	円形の素錠（割線付き）		
	表面	裏面	側面
			
直径	10 mm		
厚さ	3.3 mm		
重さ	250 mg		
色	白色～類白色		
識別コード	211		

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	アミファンプリジンリン酸塩
添加剤	結晶セルロース、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸カルシウム

【その他】

- この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・ボトル開封後は、使用の都度、レーヨンコイル（緩衝材）をボトル内に入れた状態でキャップをしっかり締めて保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ダイドーフーマ株式会社

くすり相談窓口

電話番号：0120-671-611

受付時間：月～金 9：00～17：00

（土、日、祝日、休業日を除く）